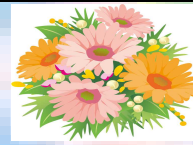


3 学年通信



Lucky days ラッキーデイズ 3 月号



R5.3.1 (水)

「好奇心を持って周りを見渡せば普通の日など 1 日もない。毎日が幸運に満ちた特別な日になるのだ」という思いを込めて

【ベストを尽くせ】～県立高校一般選抜入試～

いよいよ県立高校一般選抜入試です。まだまだと思っていたのに、最近では、もう少ししかないと焦る声もちらほらと……。受検するみなさん、準備は万全でしょうか。今までの学習の成果が100%以上発揮できるようがんばってください。ここでの悔いは一生の悔いとなることもあります。最後まで、気を引き締めて粘り強く取り組んでください。

入試当日は1教科終了するごとに「あと……。だ。もうすぐ終わる」という気持ちが強くなっていくことでしょう。でも、そればかりが頭の中を駆け巡っては困ります。最後まで、粘り強く取り組んでいってください。

すべてが終わったあとの解放感はかなりのもです。今までなんでこんなに苦労してきたのかと思うほど体が軽くなっていきます。でも、それが事故のもと。まだ、卒業式があるし、なんといっても3月31日までは晃陽中学校の生徒なのです。今までと同じ気持ちでがんばりましょう。むしろ、試験終了後の数日をどれだけ丁寧に過ごせるかが今までのすべての結果をものがたるのではないのでしょうか？

《当日の合格の心得（必ず実践しよう）》

- 1 最初に受検番号を書く。
- 2 時間配分を考えて、できる問題からとばしながら解答していく。
(満点をねらうのではなく、時間内に高得点をねらう)
- 3 解答用紙に空欄を作らず、すべてうめる。(可能性をのこす。中間点を獲得する)
- 4 10分前に一通り終わり、見直しを3回以上行う。(①あやしい所から見直し②前から見直し③後ろから見直し)
- 5 問題の末尾をよく読み、適切に解答する。



《絶対に入試当日やってはいけないこと》

テスト間の休み時間に前のテストの答えあわせをやらないこと。まちがっていた場合、次のテストに集中できなくなるおそれがあります。終わったことを気にするのではなく、休み時間は次のテストの準備のために使いましょう。

【間もなく卒業！輝く人であれ！】

間もなく卒業式になります。今後の生活の底辺ともいえる義務教育の9年間がもうすぐ終わりになります。そして、新しい別々の進路へと進むときがやってきます。いろいろなステップを経て、みんな社会に出ていきます。社会に出て自分の力で生きていかなければなりません。いわゆる自立です。自分の仕事を通して人のために働くのです。人のために努力し、自分も恵まれる。ギブアンドテイクです。人のために努力するとき、人は輝くのです。この世でいちばん美しいのではないのでしょうか。おおいに輝く人になってください。

- 1 自立に向けて、何事にも自ら進んで取り組む
- 2 自分をよく見つめ、長所を伸ばす努力を怠らない
- 3 自分の選択した進路でベストを尽くす。
- 4 社会性を身につけ、信頼される人になろう。
- 5 楽しい充実した生活を送ろう。



【素直な心を】

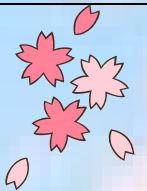
考えることなく、自然に「ありがとう」「お願いします」の言葉ができるのは、気持ちがよいですね。今、ここにきれいな花があったと考えてみてください。「この花はいくらするのかな？」と思うより、「なんて素敵な花なんだろう」と感動できる人間って素晴らしいと思います。

【3月の行事予定】

3/1 (水) 受検票交付
3/8 (水)、9 (木) 県立一般選抜入試
 3/10 (金) 卒業式予行 同窓会入会式
3/13 (月) 卒業式
3/14 (火) 県立高校合格発表



3/14 (火) ~ 県立定時制・県立通信制出願
 3/20 (月) 県立定時制入試
 3/21 (火)・28 (火) 県立通信制入試
 3/24 (金) 県立定時制合格発表
 3/29 (水) 県立通信制合格発表



【卒業式のコサージュ】 ブルーローズ 「Blue Rose」(オペラローズ・ブルー313-4)

青いバラの花言葉は、「夢 かなう」「神の祝福」

バラだけは長い間、青い色は存在しないといわれていました。そのため、青いバラの花言葉は「不可能」、「存在しないもの」など、マイナスのイメージでした。しかし、2002年、バイオテクノロジーの力によって、日本の研究者たちが遺伝子の組み替えによって、ついに、世界初の青いバラを誕生させました。花言葉は「夢かなう」。青いバラの登場は当時、マスコミでもずいぶん話題となりました。

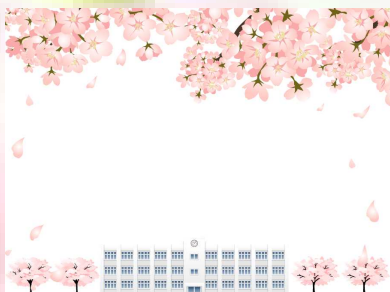
栃木県の小林森治氏[1932～2006年]が、人工交配によっていくつかの青いバラを世に送りだし、「バイオテクノロジーでないと青いバラは作れない」という定説をくつがえしたともいわれています。小森氏が作った青いバラは現在、栃木県の「とちぎ花センター」に寄贈され、今でも見ることができます。

間もなく、「ご卒業おめでとうございます」

- 4月 最上級生としての学校生活がスタート。
- 5月 体育祭。よさこいソーラン盛り上がったね。学校の顔として下級生をけん引し、活躍できました。
- 6月 修学旅行。奈良と京都に行きました。楽しい思い出がたくさんできたね。
- 7月 総体予選。今まで培ってきた「技術」「体力」「気力」を出し尽くしてがんばりました。
- 8月 高校一日体験学習。いよいよ受験生という気持ちが芽生えてきたかな。
- 9月 1・2年生は新人戦。3年生は学校に居残りで実力テスト。受験生になっちゃったね。
- 10月 文化祭、合唱コンクール、どちらも楽しかったね。有志発表をふくめ、みんな輝いていたよ。
- 11月 持久走大会。部活を引退して体力が落ちていても、最後までがんばって走り抜けました。
- 12月 11月の進路相談も終わり、いよいよ受験に向けて、本気で動きはじめたとき。
- 1月 私立高校入試。初めての高校入試。緊張やプレッシャーを抑えるのは大変だったでしょう。
- 2月 卒業生を送る会。あっという間に送られる側になりました。1、2年生、ありがとう。
- 3月 間もなく、卒業。一瞬、一瞬を大切にしよう。素敵な卒業式を作り上げよう！

いろいろな出来事が、昨日のことのようには頭の中に蘇ってきます。みんなと過ごした時間は、どれをとっても思い出深く貴重なものです。今まで本当にありがとう。

間もなく、卒業の日を迎えます。卒業式では、もちろん君たちが主役です。ですが、今まで学んだことや身に付けたこと、ここまで立派に成長したことを会場のみなさんに見てもらう場でもあります。あなたたちを育ててくださった保護者の方々、先生方、そして苦楽を共にした仲間感謝を表す式です。卒業生として、ひとりひとりが、最後にその気持ちを式の中で示してください。



明日のために今日を生きるのではない。次の何かのために今を生きるのではない。今という今、こうしていのちを得て、何かができる喜び、大事なものはこれだ。新しい今を、喜びの心で迎えることができることを発見した私たちの前に、不思議に、可能性の花は、その場で開く。今、ここで全力を尽くす人間の力に限界はない。

「大事なことは、全て、手間がかかって難しいもの」
 「感謝するから、幸せになれる」 「ありがとう」